離島・中山間地域の情報化を考える

-宮崎・大分のまちおこしを参考に

宮崎産業経営大学法学部専任講師 三輪 まどか

宮崎県における「中山間地域」

✓ 地域振興5法(「過疎地域自立促進特別措置法」、「山村振興法」、「離島振興法」、「半島振興法」、「特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律」)の指定地域を基本として、地理的条件に加え、生産・経済的条件が不利で、各種振興が必要な地域

出典:宮崎中山間ネット http://www.chusankan.net/about/



出典:宮崎中山間ネット http://www.chusankan.net/ikiiki/2010年日本社会情報学会(JASI&JSIS)合同研究大会

いきいき集落

- white the same of the same of
 - ✓ 元気な集落づくりに 取り組む集落
 - 宮崎県が実施する 「いきいき集落」事 業に応募し、認定された集落



いきいき集落に認定されると、この旗が掲げられる。

出典:宮崎中山間ネット http://www.chusankan.net/about/

いきいき集落事業の目的



- ✓ 住民発意による元気な集落づくり
 - ✓ 生活環境の整備に関する事業
 - ✔ 景観の美化、景観の維持に関する事業
 - ✓ 地域行事、伝統行事に関する事業
 - ✓ 文化活動及び学習活動に関する事業
 - ✔ 都市住民等との交流に関する事業
 - ✔ 健康づくりや生きがい対策に関する事業
 - ✓ 高齢者の見守り活動等に関する事業
 - ✓ 地域の特色ある農産物の生産、加工、販売等に関する事業
 - ✓ 情報発信に関する事業

出典:宮崎中山間ネット http://www.chusankan.net/about/2010年日本社会情報学会(JASI&JSIS)合同研究大会

情報発信の現状

- and the second
 - ✓宮崎中山間ネット: 4 集落の状況
 - ✓中山間盛り上げ隊:協力者の募集と情報 交換
 - ✓県立図書館でのパネル展:県民への周知
 - ✓ 宮崎に来んね・住まんねブログ:移住者 へのPR

現在発信されている「情報」

- Har for
 - ✓ 内容
 - ✓中山間地域の現状 (状況や産品)
 - ✓中山間地域を支援するたちの募集と掲示板 (緩やかなネットワークのはしり)

- / 想定される対象
 - ✓地域(集落)住民
 - ✓県内の地域外住民
 - ✓県外の人で、宮崎に 移住を考えている人

何のための「情報化」か?

- with the same of t
 - ✓地域の魅力を伝えるため?
 - ✓地域に人が来て欲しいから?
 - ✓ 現在住んでいる人が地域の魅力を感じ、 地域を離れないようにするため?
 - ✓地域の産品を外部の人に購入してもらい 経済的な活性化を図るため?

中之又地区一中之又チャレンジ

中之双手中少沙!

参与観察

人に添う手、暮らしを作る手ともに生きる掌集落中之又 ここに来るとみんなが温かい掌で包み込まれます。

中之又は、宮崎県の中央部木城町の奥山に位置し、33世帯、人口66人、平均年齢70歳(2010年時点)の高齢化が進行した過疎集落です。古式の鹿狩りを伝え、鹿神である「鹿倉(かくら)神」に奉納される珍しい神楽を継承する地域として、また山村留学で名を馳せた地域の誇り、中之又小学校を支えて来た地域として活性化へ挑戦します!

トップページ

活性化への挑戦

集落の紹介

カラマル学校







http://www.nakanomata.com/index.html

イルミネーション・結婚式



起点 山間留学



神事と神楽



サン・グロウ らくがきART との協働

オリジナ ル商品化

2010年日本社会情報学会(JASI&JSIS)合同研究大会

観光化

石仏巡り

中之又の情報化の状況

ハード面

- ✓道路
- ✓ 携帯電話:ドコモの基地
- ✓ 光ケーブルの敷設
- ^{ぱィン)}廃校となった小学校

ソフト面

- ✓ ホームページによる現 状の情報発信
- ✓ 個人のブログによるイ ベント関連の情報発信
- パント、神楽、お祭 りの開催(コミュニ ティの形成)

過疎地域等集落における住民意識調査

- ▼平成20年に宮崎県が実施
- ✓ 集落の生活の満足度
 - ✓ 少し不満 40.8%、満足27.5%、かなり不満 21.3%
 - ✓ 年齢別 40歳未満 満足31.3%最多
 - ✓ 40~64歳 不満とかなり不満 65.2%
- ✓ 集落の生活の不満内容
 - ✓ 病院や診療所などの利便性と日用品など買い物の 利便性、バスなどの交通の利便性が高い
 - ✓ 40歳未満 道路の状況、情報通信環境
 - ✓ 85歳以上 銀行や郵便局などの利便姓

中山間地域の活性化に必要な情報化のヒント

- ✓何のための情報? (目的)
- ✓誰に対する発信? (対象)
 - 伝えられる情報の内容?(内容)
 - ---不足している情報---・人を動かすような情報
 - 集落の人の意思疎通を図るような情報
 - 何よりも集落自身がどうしたいのか(明確な方向性)

大分での展開

コミュニティ・カフェ (大分・別府)

- •ひとり暮らしの高齢者 が多いという調査結果
- •まちなかに福祉の拠点 が少ないという実態
- まちなかに人の流れを つくりたいという希望
- •障がいのある人の社会 参加

2010年3月で閉店APUに引き継がれる

- ★結果については、大分 大学福祉科学研究セン ターによる報告書を参 照
- http://www.hwrc.oitau.ac.jp/research_activities/machinak a_cafe/file/cafeaisatu_100331.pdf

詳しくはhttp://machinakacafe.blogspot.com/ 2010年日本社会情報学会(JASI&JSIS)合同研究大会

広がるコミュニティ・カフェ

- under.
 - ✓ 大分市中心市街地
 - ✓ 2010年7月にオープン
 - ✔ まちなかカフェでのノ ウハウを活かしたカ フェづくり
 - ✓ 障がいのある人の社会 参加:喫茶部門
 - ✓ SWが常駐し、喫茶部門 のサポート、相談業務 の充実



Q-su café NPO法人春風の森 L.L.C.ハートブリッジ

Q-su café:http://harukazenomori.jimdo.com/